

## とりたてによる強調・パラフレイズでわかりやすくなる プレゼンテーションの手法

### －辛坊治郎氏のニュース解説の分析から－

#### Technics for improving Presentations through Emphasis and Paraphrasing

中西久実子

#### 要旨

This article studies how an oral presentation becomes easier to understand through the appropriate use of emphasis and paraphrasing. It analyzes as a model a news commentary by presenter Jiro Shinbo. Emphasis is used mainly in the introductory part of the commentary, to put focus on certain news among various others. As for paraphrasing, it is used when a difficult expression appears in the news commentary.

#### 1. 先行研究と問題のありか

先行研究では、「強調語が欺瞞度に対して何らかの影響を及ぼす可能性 (村井潤一郎 (2006:66))」が指摘されている。村井潤一郎 (2006:66)では、「かなり」「全然」「すごく」「どうしても」など強調語による「適度な強調は欺瞞度を低下させ、過度の強調は欺瞞度を上昇させると考えられる (村井潤一郎 (2006:63))」と指摘されている。たとえば、(1)のような強調語なし条件の発言内容の欺瞞度が若干高く、(2)のように強調語があれば、欺瞞度が若干低くなるということである。

(1) 用事があって、電話に出られなかったんだ。

(2) 用事がかなりたくさんあって、どうしても電話に出られなかったんだ。

しかしながら、村井潤一郎 (2006:66)の結論はアンケート調査に基づいて導かれたものであり、実例を用いた調査はおこなわれていない。強調すると欺瞞性が低くなることはわかったが、実例において強調がどのようにおこなわれているかは明らかではないということである。

そこで、本稿では、テレビ番組の辛坊治郎氏のニュース解説のデータをもとに、とりたてによる強調・パラフレイズがどこでどう用いられているかを明らかにする。本研究で今回分析の対象としたニュース解説は、「わかりやすい」とされることが多い辛坊治郎氏のニュース解説 (読売テレビ「す・またん! 朝刊朝読みチェック」2015年12月放送分) である。このニュース解説は、解説者 (辛坊治郎氏) が、毎朝数個のニュ

ーストピックを取り上げ、各ニュースの内容と自分の意見をプレゼンテーション形式で示すものである。ニュース解説は、まず、冒頭部分でその日に紹介するニュースにはどんなものがあるかという「ラインナップ紹介」があり、その後に「個々のニュース解説」がなされるという2部構成になっている。本研究では、このニュース解説のビデオを文字化したデータを分析する。

分析したニュース解説データを見てみると、たしかに(3)のように「すごい」など強調語が用いられていることがわかる。しかし、強調がどこでどう用いられているかは明らかではない。

(3)S: さ、最終項目です。スターウォーズです。すごいです。週末爆発的にやっばり当たってます。日刊スポーツの21面、スターウォーズ興行収入1位で、週末が3日間として16億円、すごいですね。全世界では600億超えてるんじゃないのか。ところが、日本国内で週末の土日の2日間だけの集計で、観客動員数だけの集計で言うと、売り上げはスターウォーズの方が上なんです。観客動員数はスポ日の21面(以下略)(2015年12月22日(火) file2-0:12, 6:57)

## 2. 定義と仮説

### 2.1 強調とは

強調とは、「相手の心に強く訴えるように特にその部分を目立つように(言い)表わすこと(『新明解国語辞典 第五版(1999)』)」である。ある発話を強調する方法には次の3つの方法が考えられる。

第1に、(1)(3)の「かなり」「どうしても」「すごい」など程度がはなはだしいことを表す副詞や形容詞で強調することができる。

第2に、プロミネンスを置いて強調する方法がある。たとえば、(4)の「今日」を強調するなら、「は」にプロミネンスを置いて強く発音すればよい。

(4) 今日はきれいだね。

第3に、とりたて助詞「こそ」「さえ」などによっても強調することができる。たとえば、永野賢(1951:50)では、とりたて助詞「こそ」について「①主格の提題。強調の意がある。」として、(5)(6)のような例が挙げられており、それぞれ「あの人」「この飛行機」が強調されている。

(5) ○あの人こそ、夢にまで待った私の騎士、とうっとりした彼女は、～。

(6) ○この飛行機こそ、日本中の野球ファンが待ちに待った、サンフランシスコ。

シールズや球団（旧字体）一行二十五名を乗せた（旧字体）パン・アメリカン・クリッパーでした。（上記2例とも永野賢（1951:50）より）

とりたてとは、「文のある要素をきわだたせ、同類の範列的な要素（paradigmatic（以下、パラディグマティックな要素と表記する））との関係を背景にして、特別な意味を加えること（日本語記述文法研究会（2009:3））である。つまり、強調してきわだたせるためには、背景にパラディグマティックな要素がなければならないということである。具体的に言えば、(6)では「この飛行機」がとりたてられているが、その背景に、パラディグマティックな要素として「他の飛行機」が想定されなければならないのである。本稿では、パラディグマティックな要素が設定されることに着目する。

## 2. 2 仮説の設定

本稿では、先行研究におけるとりたての定義を踏まえて、(7)のような仮説を設定し、テレビ番組のニュース解説のプレゼンテーションのデータを用いて正しいことを導いていく。

(7) ニュース解説においては、とりたてによる強調をすればわかりやすくなる。

とり

たてによる強調は、背景にパラディグマティックな要素が設定されることに

よっ

て実現される。

背景にパラディグマティックな要素が設定され、とりたてによる強調が実現されれば、伝える内容は同じでも、話し手がどの部分を際立たせたいかがわかる。際立った部分が要点だとわかるので、聞き手は「なるほど、わかった」と感じやすくなるのである。

## 3. 仮説の検証

### 3. 1 パラディグマティックな要素を設定して強調する

ニュース解説のプレゼンテーションの一部を強調するには、パラディグマティックな要素を並立的に設定する場合と、序列的に設定する場合とがある。以下では、並列的、序列的の順でパラディグマティックな要素の設定のされ方をみていく。

#### 3. 1. 1 パラディグマティックな要素を並立的に設定して強調する

パラディグマティックな要素を並立的に設定する方法は2つある。

第1は、同じ要素を単純にくり返したり、併記することである。たとえば、(8)では「深く」が2回繰り返され、(9)では「あ」が2回繰り返されることによって強調されている。

(8) そのときの先生がおっしゃったことが今でも深く深く心に刻まれている。

(9) あ!ああ!

ニュース解説のプレゼンテーションのデータでも、(10)のように、くり返すことによってパラディグマティックな要素を並列的に設定することができる(以下、データのSは辛坊氏、Aはアナウンサーの発話であることを示す)。たとえば、(10)では「デカイ」という評価がくり返し示されて強調がなされている。このように同じ要素を並列的に示せば、それがパラディグマティックな要素となって増幅して伝達されるのではないだろうか。

(10)S:今日は一面トップ全部これかな。あー、日経だけ違うか。毎日も違うんですね。

A:じゃ読売新聞です。

S:どうでもいいけど、産経の見出しはデカイね。

A:そうですね。まず、読売新聞から、産経前支局長無罪、朴大統領誹謗目的なしとあります。

S:はい。産経ご覧のようになっています。

A:無罪、言論の自由保護内とあります。

S:デカイねこりゃ。ま、VTR行ってみる?(2015年12月18日(金)file11-0:03,5:27)

パラディグマティックな要素を並列的に設定する第2の方法は、同類のパラディグマティックな要素の存在を他に示すことである。先行研究でも指摘されているが、(11)のように「奥さんが」が「も」でとりたてられる場合は、「弁護士だ」ということについて並列的で同類の要素、すなわち、パラディグマティックな要素「田中さん」と同様にあてはまることが強調される。

(11) 田中さんは弁護士だが、実は、奥さんも弁護士だ。

ニュース解説のプレゼンテーションのデータでも、(12)のように、同類の要素の存在を他に示すことによって、パラディグマティックな要素を並列的に設定することになり、強調することができる。(12)では、「各紙」という語から、「他にも同類の要素がある」ということがわかるが、この「他の同類の要素」が並列的でパラディグマティックな要素になっている。

(12)S:はい、各紙大きな扱いです。産経新聞の1面トップをご覧ください。高浜  
来月下旬再稼働へ。あとは毎日も1面トップですね。各紙1面大きな扱い  
になっております。(2015年12月25日(金) file010-2:05, 7:10-15)

以上、(10)(12)で考察したとおり、分析したニュース解説のプレゼンテーションのデータにおいては、同類の要素のくり返し、あるいは、同類の要素の存在を他に示すことによって、パラディグマティックな要素が設定され、とりたてによる強調がなされていた。

### 3. 1. 2 パラディグマティックな要素を序列的に設定して強調する

強調は、パラディグマティックな要素を序列的に設定することによっても可能になる。では、どうすれば序列的でパラディグマティックな要素が設定できるのだろうか。

たしかに、ニュースにおいては、事実のみが伝えられるのが普通である。しかし、ニュース解説はニュースと違って、解説者(話し手)が自分の主観的な評価を付与してニュースを伝達することがある。(13)の下線部に注目していただきたい。(13)では、これから解説するニュースのラインナップが示されているのだが、まず、下線部(a)のように「びっくりしました」という主観的な評価を付して、映画のニュースだけが他と違って興味深いことを示し、序列化をはかっている。序列的でパラディグマティックな要素は、解説者(話し手)が「要注意だ」「びっくりした」などの主観を付与することによって設定される。つまり、他のパラディグマティックな要素との程度差を作ることによって、とりたてられている要素だけが突出して強調されてみえるのである。

(13) S:はい、ご覧のようなラインナップなのですが、あの週末公開、快進撃スターウォーズ、思わぬ強敵登場。

A: ん?:強敵って?

S: (a) これちょっとびっくりしました。さすがにびっくりしました。(快進撃「スターウォーズ」思わぬ強敵登場というテロップ)(2015年12月22日(火) file1-0:23, 6:57)

(14)の下線部も同様である。(14)では、「要警戒だ」という話し手の主観を付与することによって、当該のニュースが他のニュースより序列的に優位に立つ。(11)の解説者(話し手)は、「これからVTRを使って解説したいニュースが3つある」として程度差のあるパラディグマティックな要素を背景に序列化している。このように、序列的でパラディグマティックな要素を背景にすれば、話のどの部分を際立たせたいかという強調が可能になる。

(14)S:ただこれちょっと控訴しないと思うけどな。ただわからないですね。拘束期限が一週間ってことなんで、一週間何が起きるかわかんないですけども、ま、検察は裁判所の意思尊重ということで、これで今回は終わりになりそうな気はしますけど。まだわかりません。さ、はい、VTR 三つあります。このね、橋下さんの退任もあれなんだけど、左下ちょっとこれ、これねえ、これから要警戒だわ。

A:昨日夜大阪道頓堀にあるコンビニエンスストアで、外国人風の男2人が缶ビールやサンドイッチなどを万引きし、アルバイト店員2人に呼び止められました。男2人は店員を押し倒し、店の周りにいた外国人風の男ら10数人とともに殴る蹴るの暴行を加え逃げました。店員2人は軽傷です。大阪市内ではおとといサッカーのワールドカップの準決勝がおこなわれ、アルゼンチンのチームを応援するサポーターらが現場付近に集まり、騒ぎになっていました。警察はサッカーの応援に来たアルゼンチン人の犯行とみて捜査しています。(2015年12月18日(金) file11-2:30,5:27-32)

3. 1での考察をまとめると、(15)のようになる。(7)の仮説は正しいことが検証されたと言ってよいだろう。

(15)a. ニュース解説のプレゼンテーションのデータにおいては、とりたてによる強調をすればわかりやすくなる。とりたてによる強調は、背景にパラダイグマティックな要素が設定されることによって実現される。

b. パラダイグマティックな要素は、並列的に、あるいは、系列的に設定される。パラダイグマティックな要素を並列的に設定する方法は2つある。第1に、くり返して述べること、第2に、同類の要素の存在を他に示すことである。一方、解説者(話し手)が「要注意だ」「びっくりした」などの主観を付与することによって、パラダイグマティックな要素が系列的に設定され、他のパラダイグマティックな要素との序列化が実現して強調される。

とりたてによる強調とは、同類のパラダイグマティックな要素との関係を背景にして、ある要素を他と違って目立つようにすることである。背景にパラダイグマティックな要素を示すと、パラダイグマティックな要素と違った主観的な色づけをして特別の意味が付与される。そうすると、伝達内容は同じだが、パラダイグマティックな要素を背景にして、一部だけがきわだって見える。きわだった部分が話の要点として聞き手に印象づけられ、疑問・欺瞞性が低くなり、聞き手は「なるほど」「わかった」と感じるわけである。「とりたてによる強調」がなされると、強弱ができてわかりやすく

なるわけである。

### 3. 2 どこで強調すればわかりやすくなるか

前項までの考察で、とりたてによる強調でニュース解説がわかりやすくなっていることがわかった。では、とりたてによる強調はニュース解説のどこでおこなえば効果的なのだろうか。

今回分析したニュース解説は、先述したとおり、「冒頭部分のラインナップ紹介」の後に「個々のニュース解説」がなされるという2部構成になっていた。データをみると、強調は、「冒頭部分のラインナップ紹介」でなされていることが明らかになった。「冒頭部分のラインナップ紹介」で数あるニュースの中のどこに注目して聞くべきかの序列が示されていたのである。

## 4. 強調以外にプレゼンテーションをわかりやすくする手法とは

4. では、後半の「個々のニュース解説」部分に焦点を当て、解説をわかりやすくするためにどのような手法が用いられているかを明らかにする。

### 4. 1 パラフレイズでプレゼンテーションをわかりやすくする

上述したとおり、本研究で分析したニュース解説は、「冒頭部分のラインナップ紹介」の後に「個々のニュース解説」がなされるという2部構成になっていた。たとえば、(16)のように冒頭部分のラインナップ紹介で原発のニュースが注目すべき重要なニュースであることが示されたあと、「個々のニュース解説」部分(17)が続いているのである。

そこで、後半の個々のニュース解説部分を注意深く観察すると、パラフレイズ（言い換え）が頻発していることがわかった。(17)では、波線を付した「再稼働差し止め」という難解な表現が初めて出現している。そこで、解説者（話し手）は「再稼働差し止め」をわかりやすく下線部「つまり動かしちゃダメ」のように言い換えてパラフレイズしている。難解な表現が初めて出現したときにパラフレイズすると、聞き手の「難解でわかりにくい」という印象を回避することができ、「わかりやすい解説」につながるのである。下線部(b)も同様である。波線部分が難解なので、わかりやすくパラフレイズされている。

(16) S:はい、各紙大きな扱いです。産経新聞の1面トップをご覧ください。高



浜来月下旬再稼働へ。あとは毎日も1面トップですね。各紙1面大きな扱いです。

- (17) S: はい、高浜原発の3号機・4号機がどういうことになっているかと言いますと、非常に審査が速くてですね。全国に最初に動き出すのはここじゃないかって言われていたわけなんですけど、4月に福井地裁が再稼働差し止め、の仮処分、(a) つまり動かしちゃダメって判決を出したんですね。で、これに対して関電が異議申し立てをしていて、えー福井地裁の別の裁判官が仮処分の取り消しをおこなった。(b) つまり4月に稼働しちゃだめだよって言った裁判官と違う裁判官が、4月のこの動かしちゃダメっていうのはもう効力がないよってことになったんで、実はこの原発は、地域の同意も得られているっていう、いわゆる法律上の地元同意も得られているので、あとは原発燃料入れて動かすだけということになんで、一気に来月には稼働しそうだと。こういう状況になっています。是非はまあいろいろ意見があるだろうと思います。(2015年12月25日(金) file10-2:06, 7:10-15)

今回分析したデータでは、パラフレイズは、冒頭部分のラインナップ紹介でなく、個々のニュース解説においておこなわれていた。冒頭のラインナップ紹介でパラフレイズすることは次の理由で逆効果である。第1に、冒頭のラインナップは解説の構成を示すだけのものなので、そこでパラフレイズして詳細を示しても聞き手は混乱するだけである。第2に、冒頭のラインナップ紹介でパラフレイズしていても、後半の個々のニュース解説になると、聞き手はそれを忘れてしまって、結局何のことかわからない、「わかりにくい解説だ」という評価になってしまうのである。したがって、パラフレイズは、後半の個々のニュース解説においておこなわれなければならない。

- (18) S: さあ、第二項目はですね、ああ、これねびっくりしました。国内初カフェイン中毒、男性死亡です。九州地方で死亡した20歳代の男性の死因について、福岡大学医学部の久保真一教授は、清涼飲料などでカフェインを取りすぎたことによる中毒死と発表しました。男性はカフェインの血中濃度が致死濃度に達していて1年ほど前から眠気覚ましのドリンクを飲み、死亡する1週間前ほどからは仕事に眠くならないように飲んでいただけで、久保教授は眠気覚ましのドリンクでも中毒になることがある、注意してほしいと話しています。

S: まああの深夜に働く人も最近多いですからね、えー、人ごとじゃないって方も多いと思いますが、どのぐらいが致死量かというと、3グラム、短時



間で3グラム、というのがカフェインの致死量だそうです。で、3グラムのカフェインでどのぐらいの量かという、コーヒーで言うと、5リットル。

A:うーん。

S:5リットルのコーヒーは飲まないだろう

A:なかなか飲まない

S:まあ飲まないわね、ただまあコーヒー3杯、マグカップのコーヒー3杯だとそれで400ミリグラムだから、ま3グラムっていうのはこれの8倍ですから、まあそんなに量ではない、でもまあコーヒーでも5リットルはちょっと飲めないですが、ただ他のものと複合して、結構カフェインがきつい栄養ドリンクなんかも最近出ていますから、そういうものとあわせて飲んだら、今回亡くなった男性は、どうもねカフェインの錠剤まで飲んでいたら、胃の中からみつかったということである、特殊なケースではあるだろうという話なんです、ただアメリカなどでは毎年10人以上の方が、ていうか、今までに10数件カフェインで亡くなった例が報告されているということなんで、カフェインは飲みすぎると危ないということは知っておいてもいいかなという感じはいたします。(2015年12月22日(火)file03-2:03,6:57)

パラフレーズは、個々のニュース解説においておこなわれるが、すべての難解な表現でなされているわけではない。何度もパラフレーズされると、かえって聞きにくい解説になり、逆効果である。パラフレーズは、難解で、かつ、重要な表現でのみなされなければならない。たとえば、上に示した(18)では、「カフェイン400ミリグラム」がわかりにくいので、それが「コーヒーだと5リットル飲むことで摂取できる量で、400ミリグラムのカフェインとはマグカップ3杯分ぐらいの量」に相当する量であることを示している。(18)でパラフレーズされているのは、カフェインの致死量であり、このニュースの最重要なことである。このように難解な表現で内容把握に重要な表現が初めて出てきたときに、パラフレーズをするとわかりやすくなるのである。

#### 4. 2 主観的に選んだエピソードで濃淡をつけてわかりやすくする

4. 2では、今回分析したニュース解説においては、解説者(話し手)独自のエピソードを付すという手法が多用されていたことを示す。たとえば、次に示す(19)では、東芝という会社のニュースを出しているときに、下線部のようなエピソードを挿入し

ている。このエピソードはニュースの内容には関連性は低いですが、エピソードを聞くことによって、聞き手は親しみをおぼえ、興味深いと感じるわけである。主観的に選んだエピソードを加えることで、聞き手にとって興味深い話になるということである。また、話し手の主観的なとらえ方を加えることによって「他と違う」というニュアンスが付与され、序列化がなされる。他との差別化がなされるとわかりやすくなる要因になるのではないかと考えられる。

(19)S: さあ、今日ニュース的に大きくなっているのは、東芝が不適切会計で大量解雇へ」と出てますね。東芝が 7800 人削減へ赤字最悪の 5500 億円ということで、まあかつてはね、家電の王様で、うちが初めて買った、我が家が初めて買った炊飯器が、東芝でしたから、うちの親の世代ですけれども。その頃はね、東芝なんちゃら劇場であるとか、結構ね家電のブランド、結構重電から家電まで、ということだったんですが、やっぱ家電分野で今一つ調子が良くないということが背景にあるというのがあるようです。読売新聞の 3 面、東芝再生に道険しく」なかなかリストラだけではな一、というのが各誌記事になっております。(2015 年 12 月 22 日 (火) file03-4:43, 6:57)

(20)を(21)と比べてみたい。(20)はニュースで事実を伝えるものだが、(21)はそのニュースの解説である。(17)では A 案と B 案の審査結果しか述べられていないが、(21)では、審査の裏話がエピソードとして提示されている。

(20) (東京オリンピックのために建設が予定されている) 新国立競技場のデザインが決まりました。建築家の隈研吾さんがデザインした A 案と伊東豊男さんがデザインした 2 つの案で争われていた新国立競技場の建設計画。建築家の隈さんがデザインした A 案が 610 点对 602 点という僅差で選ばれました。事業費の削減や工期短縮などの項目で B 案を大幅に上回ったということです。(ニュース Z I P file07-6:30, 2015 年 12 月 23 日)

(21)S: 写真入りっていかイラスト入りで出してますけれども、

A1: A 案って言っても皆わかるんですかね? さっと

S: 何でしょう? こっちのもさもさしたのが A 案。

A1: もうちょっと日本らしい呼び方のほうが、

S: すっきりしたのが B 案。あ、じゃあ、甲案で、乙案、

A1: そうそう

S: 桜案、梅案

A2: いいじゃないですか。A 案 B 案で

S 竹案

A2: もういい

S そうですね。はい、ま、こっちに決まりました。まあね。私がこれどっちがいいかってそんなことを言う権利はないと、

A1: この番組の人は B 案を推してたんですけどね

S: そう私も B 案。ただ、今から考えると、あの森よしろうさんがあの、B 案がいいって言ったのは、A 案に決めるための戦略だったんじゃないのって

A2: ていう話もありますよね。

A1: あーそうなんや

S: だって、森さんが B 案って言ったら、みんな A 案だと思うじゃない、とりあえず、

A1: いやー

S: で A 案てのは実は大成建設でしょ？大成建設って例のザハ案のときのスタンドを作るってことでもう受注してたんですよ。

A1: ふーん

S: っていうことで人材から資材から全部確保して

A1: へえ～

S: ザハさんも言ってるし、それからこっちの B 案の設計者も言ってるんですけど、スタンド部分に関していうと、ザハ案とそっくりなんだって。

A1: ああ

S: だから元々大成がスタンド作る予定で、だからねデキレースじゃないのかって、だからわざわざ森さんが B 案だって言ったんじゃないかって、いう

A1: なるほど。

S: そういう案が出るぐらい、完全にデキレースじゃないの？って

A1: 目玉おやじみたいな感じ。

S: で俺やっとわかったんだけど、ここ屋根の部分がガラスになってんだよ。これなんでだと思う？

A1: なんでかな？

S: ちゅうのはですね、中の芝生を養生するのに、ここガラスにしとかないと陽が当たらないと、

A2:そういうことですか

S:そういうことなんですよ。

A1:いやでも夏場暑いよ，ガラスだと

S:まーな，でも真ん中開けてるから，真ん中から風は，横から入って上に抜ける構造らしいんだけどね。どうなんでしょう。うじゃうじゃいったってしょうがない。だけどね，ひでえなって思うのがね，A案とB案，実はね，デザインだとか，日本らしさの配慮だとか，構造だとか観客席だとか，建築計画だとか，全部B案のほうが上なんです。

A2:ああそうなんですか。

S:だけど，ワンポイント，工期短縮の実現性。A案は大成建設で基本的に中は全部なかも確保できてるよってこれで27点も差がついて，最終的なポイント差が8点差だから，だから，ここだけで決まったような感じ。

A1:じゃあ，それだけ審査したらよかったのに。

S:だから，初めっからデキレースじゃないのかって声が上がってますよね。

(2015年12月23日(水) file04-0:41,5:20-30)

裏話のようなエピソードは，ニュースの内容には直接的な関連性は低いが，エピソードを聞くことによって，聞き手は親しみをおぼえ，興味深いと感じるわけである。今回分析したニュース解説のデータでは，このようなエピソードが随所に挿入されている傾向がみられた。

## 5. おわりに

本稿では，実例のニュース解説のプレゼンテーションにおいて，とりたてによる強調・パラフレイズがどこでどう用いられているかを明らかにした。テレビ番組の辛坊治郎氏のニュース解説のデータを分析した結果，次のことがわかった。

- 1) テレビ番組の辛坊治郎氏のニュース解説のデータは，「冒頭部分のラインナップ紹介」の後に「個々のニュース解説」がなされるという2部構成になっていた。
- 2) ニュース解説を分析した結果，それぞれ適切な位置で強調・パラフレイズがなされ，プレゼンテーションがわかりやすくなっていることがわかった。強調については，ニュース解説の冒頭部分のラインナップ紹介でなされており，数あるニュースの中のどこに注目して聞くべきかがわかりやすくなっていた。並列的，あるいは，序列的でパラディグマティックな要素を背景に設定して，

とりたてている要素を目立つように強調するのである。また、パラフレイズについては、個々のニュース解説の中で難解で、かつ、内容把握に重要な表現が初めて出てきたときにはパラフレイズをおこない、主観的に選んだエピソードをつけて印象づけることでわかりやすくすることができる。

とりたてて強調されるとわかりやすくなるのは、1) 対比できる他の要素があって構造化されており、2) 主観的な色づけがなされることによって、ある要素が目立つからだである。とりたてて強調しても命題内容に変化は生じないが、背景にパラディグマティックな要素があるからこそ影ができて特別な意味が生じ、きわだっているように感じるわけである。

以下、本研究の課題について述べる。今回分析したデータは少量であり、今後はデータを増やしても同様の結論が得られるかを確認する必要がある。また、データの分析についても、実際に強調したニュースと、強調していないニュースのどちらがわかりやすいかという評価のテストはまだおこなっていない。今後はこのような調査をおこなっていく必要がある。たとえば、日本語学習者に両方のニュースの聞き取りをさせて、どれくらい正確にリプロダクションをできるかなどという調査が考えられる。

## 付記

本研究の調査は、平成 27(2015)-29(2017)科学研究費補助金挑戦的萌芽「高大連携におけるコミュニケーション教育の研究」研究代表者：坂口昌子（課題番号 15K12902）の助成を受けています。

## 参考文献

永野賢(1951)『国立国語研究所報告 3 現代語の助詞・助動詞—用法と実例—』秀英出版.

日本語記述文法研究会 (2009)『現代日本語文法 5 第9部 とりたて・第10部 主題』くろしお出版.

村井潤一郎 (2006)「強調語と疑念が発言内容の欺瞞性認知に及ぼす影響」『社会言語科学』9-1, pp. 59-66, 社会言語科学会.